

R5.4.20～26 出水時等状況把握訓練を実施（酒田・赤川・飽海出張所）

- 洪水時及び地震時等の緊急時に備え、円滑かつ迅速な活動を行うため、出水時等状況把握訓練を実施しました。
- 最上川下流及び赤川管内において、スマートフォン及び携帯無線の装備及び操作手順を確認後、現地にて巡視・点検・報告をし、河川巡視・点検報告システムと無線設備を活用しながら相互確認した事で、有事の際の状況把握に備えています。

※実施日 4月20日、24日、26日

《実施機関：酒田河川国道事務所》



▲訓練説明の状況（赤川）



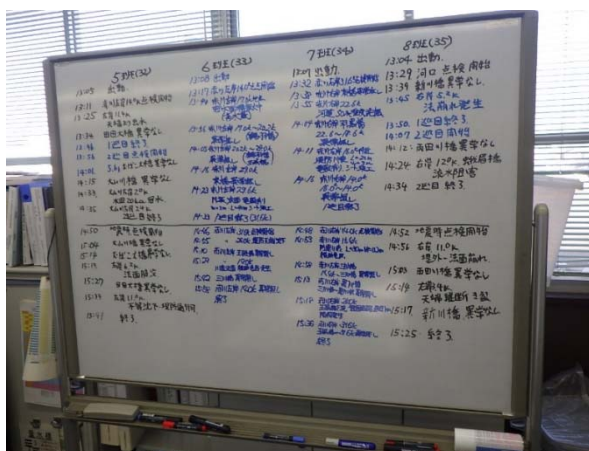
▲無線応答確認状況（最上川下流）



▲状況把握班現地調査状況（最上川下流）



▲河川巡視・点検報告システム操作実施状況（最上川下流）



▲情報収集状況（赤川）



▲状況把握班現地調査状況（最上川下流）

R5.5.12 洪水対応演習の実施

➤ 最上川下流及び赤川の関係市町村及び山形地方気象台と合同で、台風による大雨に伴う洪水を想定した実践的な洪水対応演習を実施し、危機管理担当者の災害対応能力向上を図りました。

《実施機関：酒田市、鶴岡市、三川町、山形地方気象台、月山ダム管理所、酒田河川国道事務所》



▲【全体の様子】

システムを活用し水位の入力や予測、体制の移行、洪水予報の発表等を実施



▲【全体への情報共有】

水位予測に基づき公表する情報や、体制の移行について全体周知



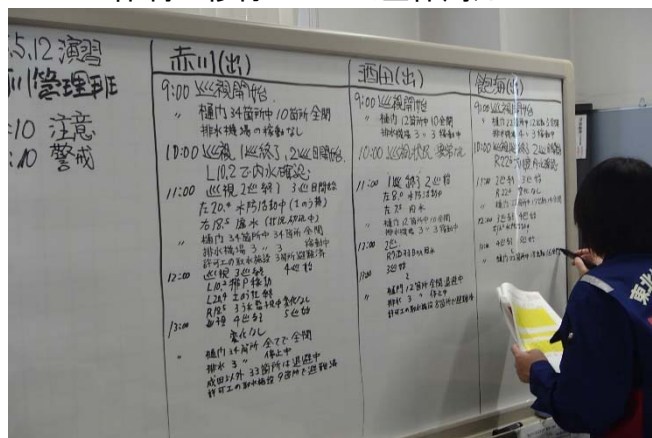
▲【若手職員の育成】

出水時の対応を学ぶため、若手職員も積極的に参加



▲【ホットラインによる情報共有訓練】

酒田市及び鶴岡市、三川町と出水状況について情報共有



▲【記録の更新状況】

各出張所(酒田・赤川・飽海)における巡視状況について、ホワイトボードに記入



▲【決裁の様子】

体制の移行や、自治体に公表する情報等の決裁

R5.5.17～31 内水等排除作業訓練の実施(赤川・飽海出張所)

- ▶ 本格的な出水期を前に、洪水時の内水等排除作業を迅速かつ円滑に行うため、関係自治体や作業従事者(委託業者)と合同で、排水ポンプ車の出動、操作訓練を行いました。
- ▶ 赤川支川青竜寺川での訓練では、国土交通省と山形県が保有する排水ポンプ車計4台(国土交通省2台、山形県2台)を出動、稼働させ、実際の対応等を確認しました。

※実施日 5月17日、31日

《実施機関:酒田河川国道事務所、山形県、三川町》



▲排水ポンプ車(国土交通省)



▲訓練状況①



▲訓練状況②



▲排水ポンプ車(山形県)の操作確認



▲排水状況



▲訓練を終えての講評

赤川支川青竜寺川での実施状況

R5.5.24～6.2 許可工作物点検の実施(酒田・赤川・飽海出張所)

➤ 本格的な出水期を迎えるにあたり、災害の未然防止、軽減を目的に最上川及び赤川に設置されている許可工作物施設を管理者と合同で点検を実施しました。

≪実施機関:酒田河川国道事務所、庄内総合支庁、鶴岡市、酒田市、山形県企業局、赤川土地改良区、最上川土地改良区、大町溝土地改良区、浜中広岡土地改良区、東日本高速道路(株)、東日本旅客鉄道(株)≫

～酒田出張所管内～



▲第二最上川橋梁(JR東日本と合同)



▲袖浦排水機場(酒田市と合同)

～飽海出張所管内～



▲根堀沢排水樋門(庄内総合支庁、大町溝土地改良区と合同)



▲大石橋(庄内総合支庁と合同)

～赤川出張所管内～



▲赤川頭首工(庄内総合支庁と合同)



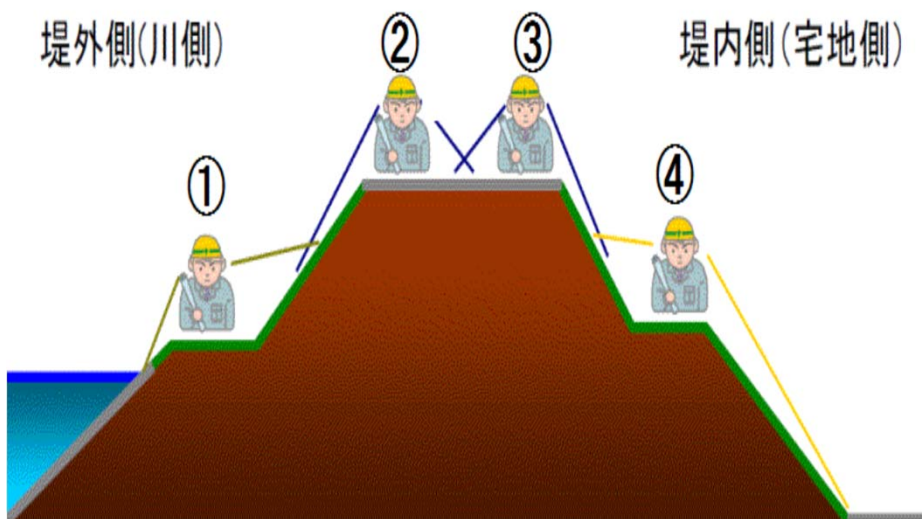
▲道形揚水樋管(赤川土地改良区と合同)

R5.6.7～ 堤防徒歩目視点検の実施

- 堤防等の河川管理施設の機能に影響を及ぼす変状・変化は様々な要因によって生じることから、その変状・変化を発見・観察するため目視を主体とした堤防徒歩目視点検を実施しました。一班4人体制により管内河川の点検を実施し、発見した変化・変状箇所については様々な対策を講じることにより、堤防の決壊や河川の氾濫等による水害防止・軽減を図ります。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

徒歩点検のイメージ



点検実施内容(例)

河川カルテ記載内容の進行程度を確認し撮影記録する。
新たな変状を発見した場合は、変状規模を必要に応じて計測し、撮影・記録する。



▲点検状況



▲小動物による穴



▲坂路の駒止めの損傷



▲補修状況

R5.6.12～28 重要水防箇所合同巡視の実施(酒田・赤川・飽海出張所)

➤ 洪水時に迅速かつ的確な水防活動の実施を図り、災害を未然に防ぐための取り組みとして、関係機関(市町の防災担当者、消防本部、水防団)が一同に会して、最上川下流及び赤川の重要水防箇所を合同で巡視しました。

※実施日 6月12日、21日、26日、28日

≪参加機関:酒田河川国道事務所、鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、
鶴岡市消防本部、酒田地区広域行政組合消防本部、各自治体消防団≫

～酒田出張所管内～



～飽海出張所管内～



～赤川出張所管内～



R5.6.13～15 船上巡視の実施(酒田・赤川・飽海出張所)

- 日常的に堤防や樋管などの河川管理施設をパトロール車を用い、巡視を行っているが、陸上からでは目視できない範囲について、船による船上巡視を実施しました。
- 船上からの点検を行い、確認された変化・変状箇所については様々な対策を講じることにより、堤防の決壊や河川の氾濫等による水害防止・軽減を図ります。

※実施日 6月13日、15日

《実施機関:酒田河川国道事務所》



▲赤川(赤川出張所)



▲最上川下流(酒田・飽海出張所)



▲最上川下流(酒田・飽海出張所)



▲最上川下流(酒田・飽海出張所)



▲最上川下流(酒田・飽海出張所)



▲最上川下流(酒田・飽海出張所)

R5.7.22 防災教育の実施(最上川200キロを歩く)

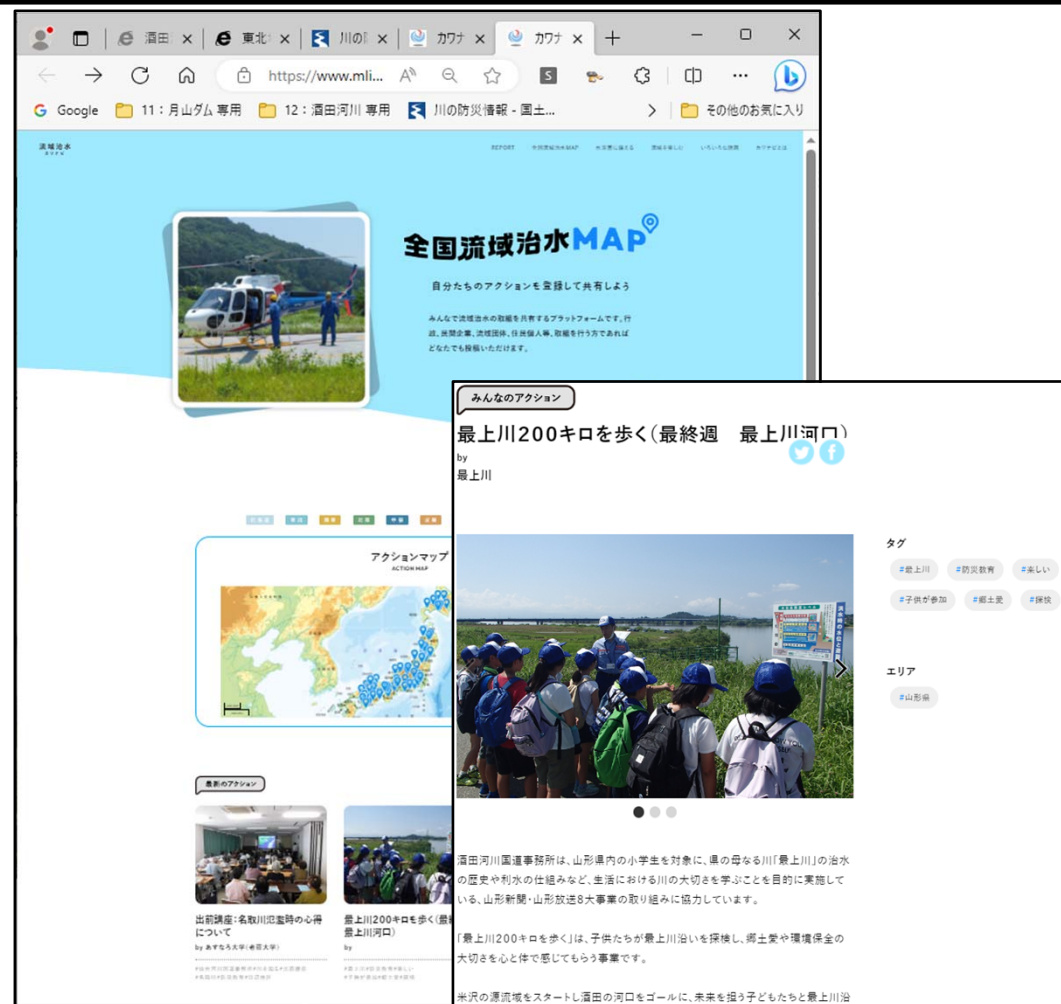
- 山形新聞、山形放送主催のイベント「最上川200キロを歩く」にて、酒田河川国道事務所も協力し、治水、防災の備えについて最上川を実際に歩いて目にしながら解説しました。
- 最上川の基準観測所である下瀬水位観測所にて、洪水時の水位の名称や、避難の目安について説明しました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

日時：R5.7.22(土)
 場所：最上川堤防(下瀬水位観測所付近)
 対象：新堀小学校5年生(15名)



下瀬水位観測所にて、洪水時の水位の名称と避難について説明！



全国流域治水MAPに、取組状況を登録！

R5.8.7 防災出前講座の実施(松原学区自治会連絡協議会)

- 災害時の避難所開設を担う自治会長向けに、他河川の堤防決壊事例や、線状降水帯のメカニズム、ハザードマップでの松原学区周辺の浸水範囲等を説明しました。
- また河川の水位等、インターネットから得られる情報の種類と入手方法や、地域の方々にとって身近なテレビ(dボタン)からの情報の取り方を実演を交えて説明しました。

《実施機関:酒田河川国道事務所》

日時: R5.8.7(月) 18:00~19:00
 場所: 松原コミュニティセンター
 対象: 松原学区自治会連絡協議会 (自治会長23名)



1. いつ、どうなったら逃げればよいか

国土交通省

警戒レベル4までに『全員、必ず逃げよう』!!
 ※ 高齢者等は、警戒レベル3で早めに避難!!

警戒レベル	避難情報等	状況	とるべき行動
レベル5	緊急安全確保	既に災害が発生している。避難を守るため最善の行動をとる	避難所へ避難する
レベル4	避難指示	災害が発生する可能性が高い	速やかに全員避難
レベル3	高齢者等避難	災害発生のおそれあり	避難に時間を要する人(※1)は避難
レベル2	洪水注意報	気象状況が悪化	避難の準備や行動を確認する
レベル1	早期注意情報	気象状況が悪化するおそれ	大雨等に関する気象情報を確認

※1に高齢の方、障がいのある方、乳幼児およびその支援者など



ハザードマップで松原学区周辺の浸水範囲を確認!



線状降水帯に関する各種気象情報

~警戒レベル相当情報を補足する解説情報~

顕著な大雨に関する情報

顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による災害発生危険度が急激に高まっている中で、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は、警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

顕著な大雨に関する気象情報が発表された際には、「雨雲の動き」「今後の雨」(1時間雨量又は3時間雨量)において、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域を赤い楕円で表示します。

大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域 (現在時刻の解析)

大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域 (10~30分先の解析)

2022年8月3日18時30分に観測された線状降水帯の雨域14

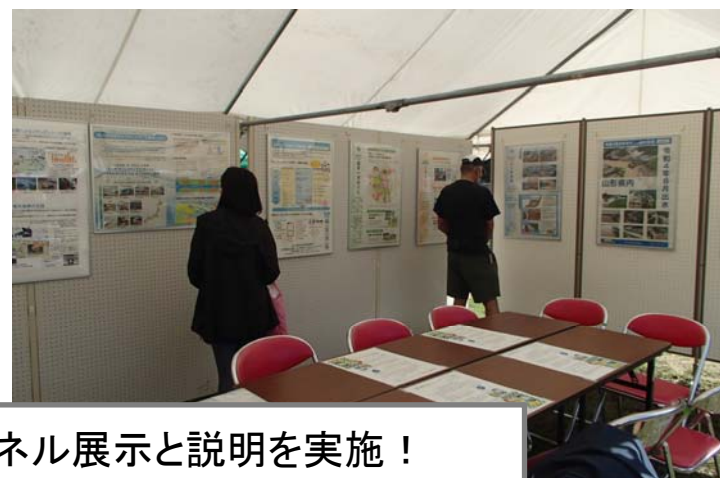
PCで「川の防災情報」から最上川の水位を確認する方法を実演!

R5.10.8 流域治水パネル展示(月山龍神マラソン)

- 庄内町で10月8日に開催された「第8回月山龍神マラソン」にてパネル展を実施しました。
- 令和2年7月豪雨及び令和4年8月出水の概要や、最上川・赤川における流域治水プロジェクトの推進についてのパネルを展示し、当日は現地で説明を行いました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

日時：R5.10.8(日)
場所：庄内町清川グラウンド
対象：マラソン参加者、応援客



マラソン会場にてパネル展示と説明を実施!

R5.10.15 防災教育の実施(鶴岡市総合防災訓練)

- 鶴岡市総合防災訓練にて、酒田河川国道事務所も協力し、小学生への防災教育体験コーナーを実施しました。
- 斎小学校の1～6学年を対象に、「排水ポンプ車展示」、「洪水〇×クイズ講話」、「浸水体験長靴での歩行体験」を実施し、洪水への備えについて学んでいただきました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

日時：R5.10.15(日)
 場所：鶴岡市立斎小学校
 対象：1～6学年(約120名)

クイズ①

ちか あめ ふ 近くで雨が降っていても、
 かわ みず ふ 川の水が増えることがある。
 ○か、×か、どちらでしょうか？



①せいかい：〇

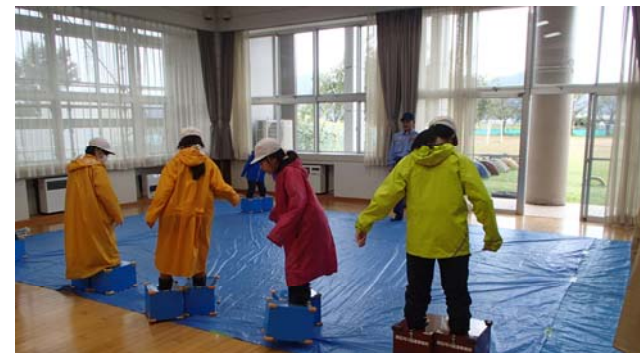
しりょう あめ は 上流で雨が降れば、下流で晴れていても川の水が
 増えることがある。
 あめ ふ ほうりゅう かわ みず 雨が降ってなくても、ダムが放流している川の水が
 増えていることもある。



楽しい〇×クイズで
 洪水について学んでもらいました！



普段は見られない排水ポンプ車を
 間近に見てもらいました！



水深40cm、流速1.5m/sの水の中を歩いたときの重さを体験できる
 「浸水体験長靴」を履いて歩く体験を行いました！

R5.11.21 防災出前講座(内川を美しくする研修会)

➤ 「水害からのちを」を守るをテーマに水防と流域治水に関する出前講座を行った。赤川水系の赤川・内川などの身近な地域の河川に関する情報をはじめ、近年山形県内で頻発する大雨の被害や防災情報の確認方法について説明し、全国で取り組まれている流域治水について紹介しました。(午後は月山ダムや内川の現地視察を実施)

《実施機関：酒田河川国道事務所》

日時：R5.11.21(木)10:00~11:00

場所：鶴岡市役所別棟2号館24号会議室

対象：内川を美しくする会 会員



R5.10.15 各種水防訓練の実施(鶴岡市総合防災訓練)1/2

- 鶴岡市立斎小学校を会場として、小学生、教員、地域住民、関係機関が参加して、各種水防訓練、避難所開設運営訓練、防災教育等を実施しました。

《実施機関：鶴岡市》



▲体育館の中に間仕切りシステムを利用し、避難スペース確保訓練を実施



▲消防団の指導の下、小学生による土嚢積体験の様子



▲消防本部、消防団による救命ボートを利用して洪水災害による逃げ遅れ者救出訓練の実施



▲土嚢積体験で作成した土嚢を活用しての設置訓練

R5.10.15 各種水防訓練の実施(鶴岡市総合防災訓練)2/2

- 鶴岡市立斎小学校を会場として、小学生、教員、地域住民、関係機関が参加して、各種水防訓練、避難所開設運営訓練、防災教育等を実施しました。

《実施機関：鶴岡市》



▲体育館の中に間仕切りシステムを利用し、避難スペース確保訓練を実施



▲小学生による段ボールベッド組立体験の様子



▲消防団の指導の下、小学生による土嚢積体験の様子



▲消防本部、消防団による救命ボートを利用して洪水災害による逃げ遅れ者救出訓練の実施



▲女性消防隊員による作成体験および救急救命法の実施



▲土嚢積体験で作成した土嚢を活用しての設置訓練

※当日は酒田河川国道事務所と連携し、小学生への防災教育体験コーナーを実施して頂きました。

R5.10.29 酒田市一斉総合防災訓練

- 酒田市全域において、酒田市民等を対象に、行政、地域及び防災関係機関が組織的連携を発揮し得る体制(態勢)を整備し、その能力を向上させることを目的に、総合防災訓練を実施しました。

《実施機関：酒田市》

実施内容

実災害に即した 酒田市一斉総合防災訓練

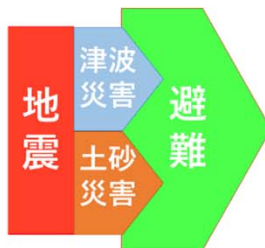
昨年に続き
バージョンUP!



- ▶参加： 全市民・自衛隊・海上保安庁・警察・消防・消防団・自主防災組織・病院・民間企業（ライフライン）・市

(旧) (新)

- ▶範囲：「学区単位」 → 「酒田市全域」
- ▶想定：「展示型」 → 「ブラインド型」
- ▶情報：「紙ベース」 → 「DX活用」



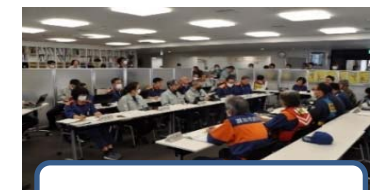
避難場所への移動



避難所開設訓練



自衛隊入浴施設設置



災害対策本部会議

効果/工夫点

ポイント①

酒田大火の日 10/29 開催!

市民の防災意識 UP

酒田市一斉
総合
防災
訓練
令和5年
10/29
午前8:00頃~
訓練内容
シェイクアウト訓練
津波避難訓練
避難所開設訓練 etc
お問い合わせ 酒田市危機管理課 0234-26-5701

ポイント②

DXの力で情報共有 → 連携力UP!

- ▶防災アプリ（安否確認サービス）で情報共有
- ▶災害情報アプリを活用した災害情報等の情報収集・整理・共有



R5.9.1 地域と連携した防災訓練の実施

- 災害時の初動対応及び避難誘導等を想定した防災訓練を各種団体等と連携して実施しました。
- 地域住民と消防団の連携の確認等、災害が発生した際に取り組むべき課題を地域で検討し、災害発生時に迅速な対応が図られるよう取り組みました。

《実施機関：三川町、三川町消防団、地域住民》



▲町内会と消防団の連携



▲あわせて火災防御訓練も実施

日時：R5.9.1
場所：町内一円（町内3地区で実施）
対象：地域住民及び消防団等



▲要支援者を含めた住民避難訓練

R5.11.26 女性目線の防災講座

- 東北大学の保田先生を講師に迎え、町内の女性約30名を対象に講演会を実施しました。
- マイタイムラインの作成や災害非常食の試食を行いました。

《実施機関：庄内町》

R5.11.26 庄内町文化創造館 響ホール



▲女性目線の防災を主題に講演いただきました。



▲アルファ米、味噌ラーメン、クッキーの試食を行いました。



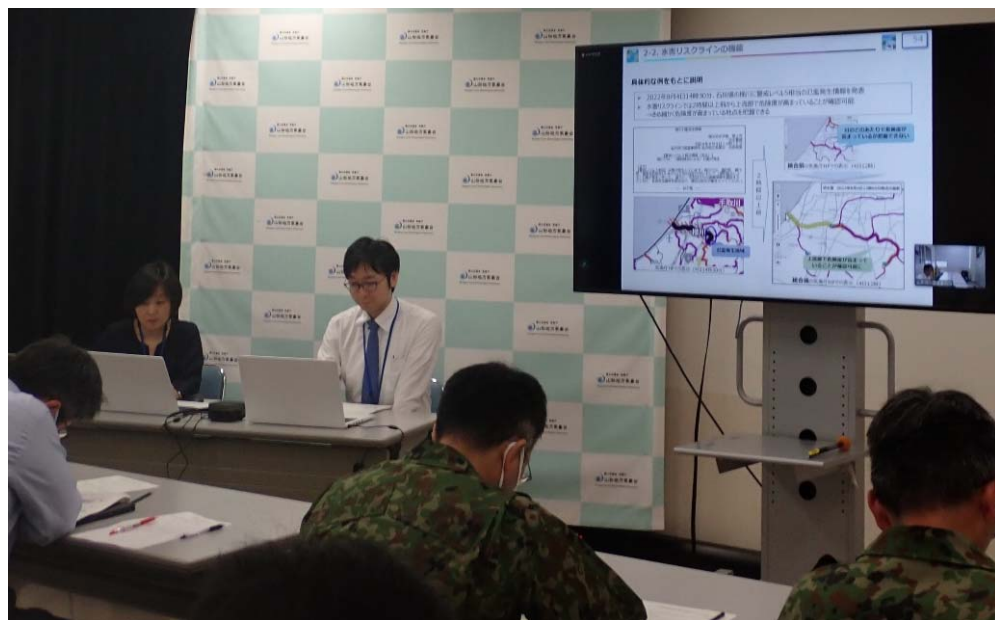
▲グループワークでマイタイムラインを検討しました。

R5.5.26 水害リスクラインと洪水キキクルに関する合同説明の実施

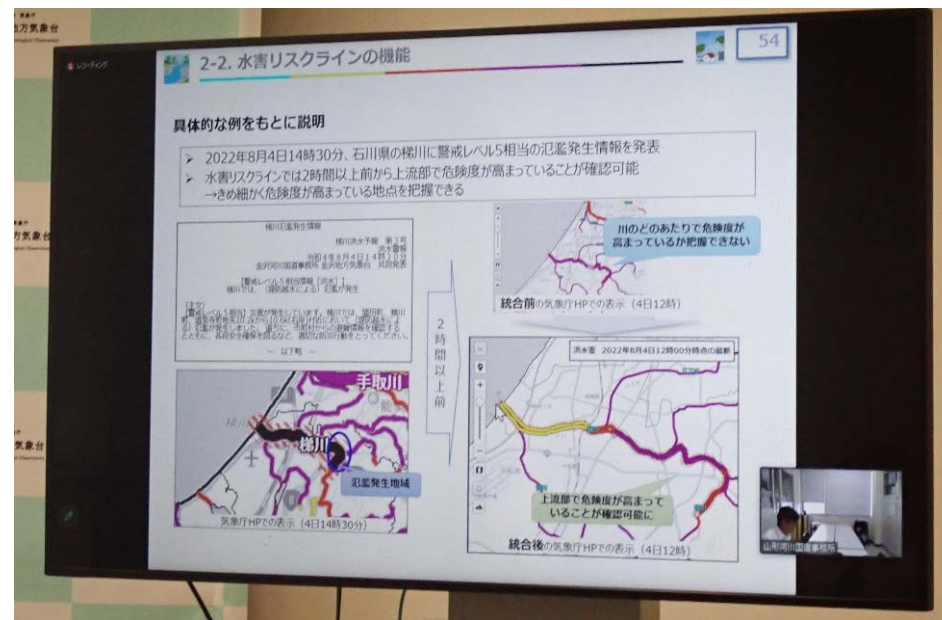
- 5月26日に行った防災気象情報等に関する連絡会(山形地方気象台主催)において、R5.2.16から開始した水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示(※)に関する説明を県内河川(国道)事務所と気象台で合同実施しました。
- 水害リスクラインは河川国道事務所から、洪水キキクルは気象台から、それぞれ専門的な目線で情報の概要、利用方法等を分かりやすく解説し、参加者からも大変好評でした。
- 説明の内容は後日市町村防災担当者にも共有し、地域防災力の更なる向上にも貢献することができました。

《実施機関：山形地方気象台・県内河川(国道)事務所》

※これまで別々だった水害リスクライン(国土交通省提供)と洪水キキクル(気象庁提供)のHPが、一つのHPで閲覧可能になった



▲気象台と山形河川国道事務所でオンライン会議を中継し合同説明



▲水害リスクラインに関する説明の様子(説明は代表して山形河川国道事務所が実施)

R5.6.8 気象防災ワークショップの開催

- 庄内地域の自治体防災担当者を対象に、山形県庄内総合支庁と合同で気象防災ワークショップを開催しました。
- ワークショップは多くの方にご参加いただき、大雨時の防災対応をグループワークを通じて疑似体験してもらい、気象災害への防災対応力の向上を図っていただきました。

《実施機関：山形地方気象台》

開催日 : 令和5年6月8日(木)

場所 : 庄内総合支庁

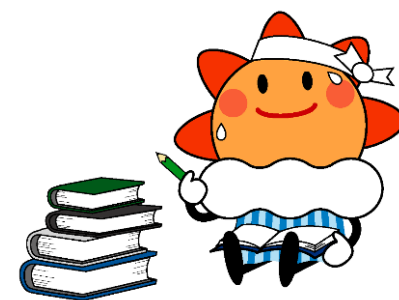
参加者 : 庄内地域の防災対応に携わる
市町、警察、消防職員(16名)



▲会場の様子



▲グループワークの様子



R5.5~10月 防災講座の実施

- (目的) ダム見学とセットで防災講座を行い、洪水等への意識向上を行う。
- (内容1) 降雨強度、雨の重み及び水の容量を説明、体験してもらう。
- (内容2) 過去の豪雨災害を写真や資料を使って振り返る。
- (開催時期) 団体の見学者で希望する方を対象に、3回(5月~10月)開催。

《実施機関: 月山ダム管理所》



雨の重みを体験



水の容量を説明中



緑の袋には、量1量に30mm/hの雨が降った時の水の量(48L)が入っています。



防災講座の後は、ダム見学



青いボックスは、水1tの大きさです。